



九州工業大の留学生と一緒に英語の授業を受ける嘉穂高生たち

九工大の講師と留学生招き授業

理系教科の英語学ふ

嘉穂高

理系教科で使う英語を学ぼうと、嘉穂高(飯塚市潤野)は13日、九州工業大情報工学部(同市川津)の外
国人講師と留学生を招いた
特別授業を実施した。希望した1、2年生22人が図形や面積、角度などを英語で表現することに挑戦した。
外国人講師はスライドを

使って、「立方体にはいくつの面があるか」「三辺の長さが同じ図形を何と呼ぶか」と英語で質問。9班に分かれた生徒たちは、各班に付いたインドネシアやオーストラリアなどの留学生から助言を受け、英語で答えをメモに書いた。

2年の瀧下嘉亮さん(16)は「初めて知る単語ばかりで勉強になった」と満足げ。青柳優香さん(16)は「分からない時は、分からないと伝えるのが大事と思った」と話した。(諏訪部真)